

サッカー 大学最強の証



▲ 応援席のサッカー部員と一緒に、最高の笑顔みせる選手たち

専攻スポーツ

大会結果 予定は体育会ホームページ 専攻ホームページ スポーツからアクセスで確認ください
専攻ホームページ 編集部 web(http://sensupo.web.fc2.com/) でも大会結果を配信しています

No.310

「攻撃的で美しいサッカー」貫く 源平貴久監督

リーグ戦の優勝、インリ返り)前半は専大らしいカレの優勝と、まだ信じられない。(決勝戦を振ったので、ハーフタイ



▲ キーパーをかまし、得点を挙げる仲川

ム中に「後半はドリブルとパスの判断を早くしよう」と選手に伝えた。これまで勝敗よりも試合の内容を重視し、選手の個性やひらめき、アイデアで「攻撃的で美しいサ



▲ 応援席も大喜び

朴泰希(GK) 4年次生として最後の試合で、これ以上ない結

(法3・清水東高)、ベストフォワードに町田が選出された。リーグ戦の初優勝に加え、インカレでの全国制覇と、最高の形で今季を終えた専大サッカー部。創部50周年に花を添えた。チームの柱であった4年次生が抜ける穴は大きい。新チームでも、必ず勝ち進んでくれるだろう。来季もサッカー部から目が離せない。(鈴木詩織・文11写真も)

選手たちの喜びの声

庄司悦大主将(MF) インカレの優勝を目標にしていた。個人賞は自分の力だけでなく、ほかの選手のおかげなので、チームメイトに感謝したい。日本一になったことで、来季は他チームのマークが厳しくなると思うが、専大らしくプレーしてこの決勝の舞台に戻ってきてほしい。

町田也真人(FW) 優勝したという実感はないが、大学日本一になれてうれしい。来季も高い目標を持ち、謙虚な姿勢で1試合ずつ戦ってほしい。

全日本大学選手権 初出場、初優勝

1月5日、東京・国立競技場で全日本大学サッカー選手権(以下、インカレ)の決勝戦が行われ、関東地区1位の専大は、同2位の明大を相手に3-0で勝利し、インカレ初出場、初優勝の快挙を果たした。

1回戦は中国地区代表 東海地区1位・中京大との福山大を相手に、前半から専大らしい攻撃的なサッカーでゴールを量産し、9-2で快勝。続く準々決勝の相手は、関西地区2位の同志社大。どちらも譲らない展開となったが、町田也真人(経済4・埼玉栄高)と大西佑亮(経済3・鹿島学園高)がそれぞれ2得点を挙げ、4-1で勝利。準決勝はインカレ常連校の

決勝で対戦した明大は、今季のリーグ戦で1勝1敗とほぼ互角の相手。これまでの勢いのまま、前半から専大ペースの試合になるかと思われ、相手の攻撃陣に攻め立てられ、何度もピンチを招く。しかし、ゴールキーパーに朴、ベストディフェンダーに栗山直樹

個人では、関東大学リーグ戦(以下、リーグ戦)に続いて庄司悦大主将(経済4・市立清水商高)が最優秀選手賞を受賞。また、ベストゴールキーパーに朴、ベストディフェンダーに栗山直樹



▲ 相手に囲まれるも個人技の光る長澤

このサッカーができて良かった。後輩たちには、挑戦者の気持ち忘れず、試合に臨んでほしい。

栗山直樹(DF) 「全国大会」には初めて出場したので、信じられない。個人賞を受賞できて驚いたが、見ている人に認められたこと嬉しい。

大西佑亮(FW) 本当にうれしい。前半は守備陣が耐えてくれたので、自分もいつものようにプレーした結果が得点につながった。

長澤和輝(MF) 4年次生を中心に、仲の良い最高のチームだったので、1日でも長く試合が良かった。それが優勝という結果につながった。試合の流れを変えられる先制点を挙げることでよかった。

仲川輝人(MF) 日本一という実感はないが、最高の気分だ。後半はリズムを取り戻して、専大らしくプレーできたので良かった。

FC町田ゼルビアに加入内定 庄司主将



(撮影=葛西)

12月26日、庄司主将のFC町田ゼルビアへの加入内定が発表された。主将としてチームをけん引し、リーグ戦、インカレとともにMVPに選出されるなど、チームの中心として活躍。新シーズンからJ2に挑戦するチームでの活躍に期待したい。